

# GAP FUND採択チームプレゼン順 (全26チーム)

No.	TIME	Room 1	Room 2	Room 3
1	13:05 - 13:20	東京医科歯科大学 <b>浅原 弘嗣</b> バイオ韌帯の実用化におけるサイズと強度の改善	慶應義塾大学 <b>三木 則尚</b> 透析患者QOLを劇的に改善する インプラント人工腎臓Azinzoの研究開発	横浜市立大学 <b>小島 伸彦</b> 動物実験を代替可能な試験管内スフェロイド臓器の開発
2	13:22 - 13:37	東京医科歯科大学 <b>山岡 昇司</b> 画期的なレンチウイルスベクター増産法を 浮遊細胞培養系に適用できることを実証する	慶應義塾大学 <b>岸本 泰士郎</b> 音響学的解析における認知症の検知技術を 利用した事業検証	東京工業大学 <b>中山 亮</b> 材料科学者の目線で開発する ペイズ最適化のクラウドサービス
3	13:39 - 13:54	東京工業大学 <b>刑部 祐里子</b> 新規国産ゲノム編集TiDの社会実装を目指した基盤技術開発	横浜市立大学 <b>足立 典隆</b> 医療の未来を切り拓くDNA修復 - 早期事業化に向けた統合的研究開発	慶應義塾大学 <b>矢野 浩作</b> リンパ系疾患のMRI 診断および治療を同時に実現する 新規ドラッグデリバリー システム用薬剤の開発
4	13:56 - 14:11	横浜国立大学 <b>丸尾 昭二</b> 多様な材料を3Dプリントできる 多目的マイクロ3D造形装置の開発	横浜市立大学 <b>山城 恒雄</b> 画面共有・対話コンサルテーション機能を備えた次世代 型遠隔画像診断の発展性と事業化に関する実証研究	東京医科歯科大学 <b>大森 浩子</b> 歯ぎしりの病態解明のための 咬合圧・咬筋筋活動測定システムの事業化検証
5	14:13 - 14:28	神奈川大学 <b>岡本 専太郎</b> 活性型ビタミンD誘導体による創薬	慶應義塾大学 <b>村松 眞由</b> 炭素繊維強化プラスチック部品の 構造・力学を考慮したAIベース非破壊検査手法の開発	横浜国立大学 <b>岡 泰資</b> 心拍変動周波数解析を用いた心肺負荷状態把握に基づく 高負荷活動従事者の労働安全支援システムの開発
	14:30 - 14:35	～休憩～		
6	14:35 - 14:50	東京工業大学 <b>早川 智義</b> 列車の混雑を見える化し、乗客が安く乗れるかつ、 混雑を緩和し、安心して移動できる社会の実現	横浜国立大学 <b>鈴木 淳史</b> ハイドロゲルを用いた 手技トレーニング用生体質感モデルの開発	東京工業大学 <b>今村 悠樹</b> 農業を即日DXさせるプロダクトサービス“農Sight”の開発
7	14:52 - 15:07	慶應義塾大学 <b>早野 元詞</b> サルコペニアに対する治療薬開発と 老化創薬としての事業計画立案	東京工業大学 <b>松下 祥子</b> 熱源に置くだけ埋めるだけ！ 熱エネルギーで直接発電する“増感型熱利用発電”	東京医科歯科大学 <b>青木 和広</b> 唾液採取から生活習慣病予防情報が得られる データ蓄積システムの構築
8	15:09 - 15:24	慶應義塾大学 <b>大槻 雄士</b> 酸化ストレスを利用した新規抗がん剤の開発	関東学院大学 <b>小山 巖也</b> ウルトラファインバブル活用による 養殖業のサステナブル・ブランディング事業	東京工業大学 <b>川崎 愛</b> 音楽が母子の睡眠導入に与える影響 一心地よい音楽は睡眠導入時間を短縮するカー
9	15:26 - 15:41	東京工業大学 <b>鈴木 賢治</b> スモールデータAIによる 医用画像診断支援システムの多品種短期開発	横浜国立大学 <b>松本 昭源</b> 高分解能X線イメージング装置の迅速製造サイクルを 実現するVGC法を用いた厚膜シンチレータ合成と その実用化検証	-